

果菜類の隔離栽培・高設栽培に！！

1タンク混合タイプ 養液栽培用肥料

サンパワー養液シリーズ

タンクエースJP

NET:10kg

J P

10 - 11 - 35
N P K

保証成分量(%)					
T-N	A-N	N-N	W-P	W-K	W-Mg
10.0	1.0	9.0	11.0	35.0	---
保証成分量(%)			含有成分量(%)		
W-Mn	W-B	W-Fe	W-Zn	W-Cu	W-Mo
0.20	0.20	0.68	0.06	0.02	0.02

- * 肥料の保管は、密閉した上で子供の手の届かない乾燥した冷暗所で保管して下さい。
- * 「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないで下さい。
- * 硫酸マグネシウム等硫酸を含む肥料はカルシウムと反応して沈殿が発生する恐れがあります。
- * 水温が高くなる時期や環境では、水質によって藻類などが発生する恐れがありますので、濃縮液のpH低減や遮光などで菌の繁殖を防ぐようにして下さい。

1つのタンクで混合できる

サンセイのサンパワー養液シリーズ 1タンク混合タイプ

タンクエースJP + B液の使い方

標準使用例(200Lタンクの場合)

①原液タンクに約160Lの水を入れます。

(pH調整が必要な場合はpH降下液500ml~1Lを入れて下さい)

②原液タンクにタンクエースJP10kg(1袋)を加え、完全に溶けるまで攪拌します。

※水温が15°C以下の場合は本剤が溶けにくくなる可能性があるためお湯を加えて溶かして下さい。

③完全に溶解後、タンクエースB液20kgを加え攪拌します。

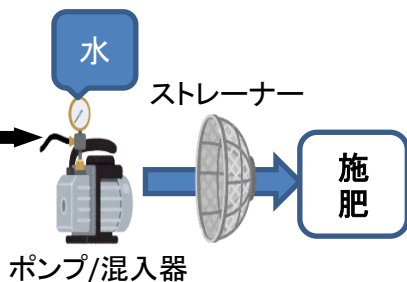
④水量が200Lになるようタンクに水を加え調整します。

⑤最終調整した濃縮原液を作物の種類、生育ステージ、季節等によって希釈倍率を調整して施肥して下さい。(原水の水質等によっても調整が必要です。)

標準使用(200L処方)

①約160Lの水にpH降下液500mlを入れ、かき混ぜながら徐々に②を溶かす

②
タンクエースJP
10kg



③
②が完全に溶解後
タンクエースB液
20kgを加える

①→②→③→④の順番で濃縮原液を作して下さい。
※作成した濃縮原液は早めにご使用下さい。

タンクエースB液

NET: 20kg

窒素 りん酸 加里 苦土

8.0-0-2.0-3.1

(NN:8.0/AN:0)

石灰(CaO) 11.0 (Ca8.1%)

システムによっては、標準使用(200L)の1.5倍や2倍量を投入することは可能ですが、タンク内に沈殿物が発生する恐れがあります。